

山陽小野田市総合計画

アンケート調査 集計・分析結果

《概要版》

平成18年4月

山陽小野田市

1. 市民アンケート編

◆アンケート概要及び回答者属性

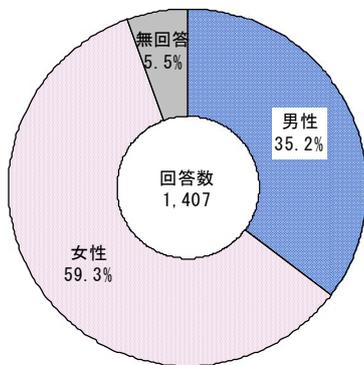
(1) 調査の方法

- ① 対象者
市内在住の18歳以上の3,500人を対象にしました。
- ② 調査の方法
郵送による配布・回収を行い、無記名回答方式を採用しました。
- ③ 調査期間
平成18年1月13日～1月23日
- ④ 回収状況

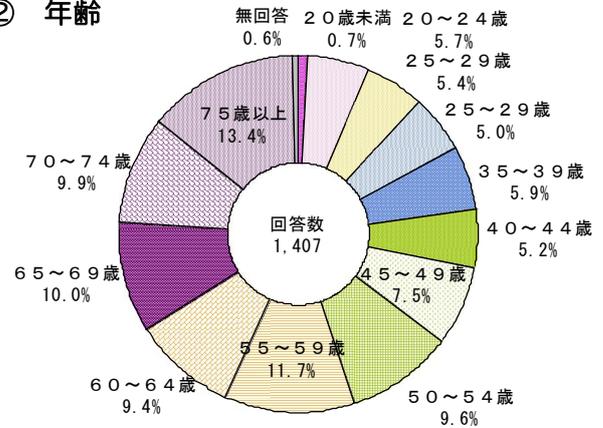
配布数	3,500票
回収数	1,410票
回収率	40.3%
回答数	1,407票
回答率	40.2%

(2) 回答者の属性

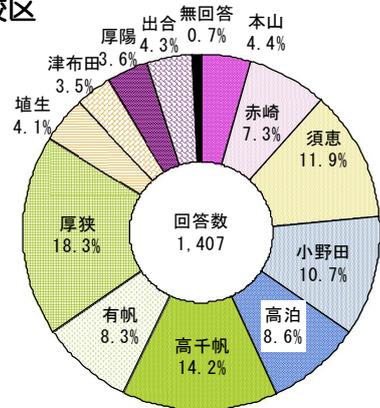
① 性別



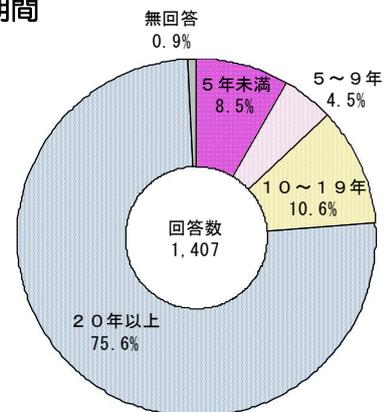
② 年齢



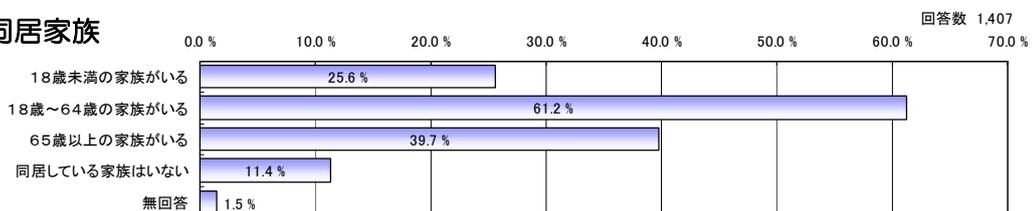
③ 校区



④ 居住期間



⑤ 同居家族



◆ 山陽小野田市について

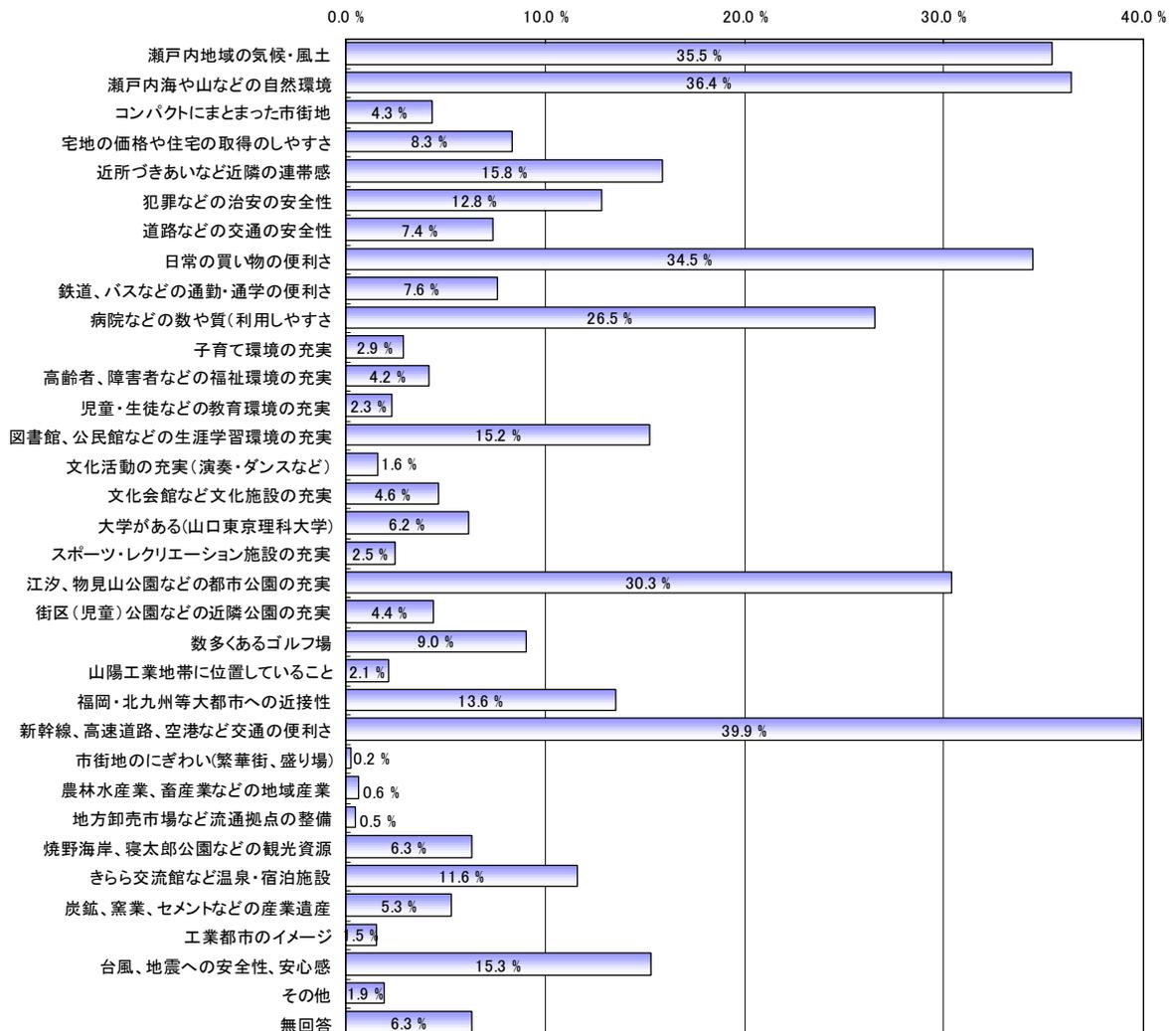
- 自慢できるものは、瀬戸内海や山などの自然環境、瀬戸内地域の気候・風土などの自然とともに、新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ、日常の買い物の便利さ、病院など数や質（利用のしやすさ）など生活の利便性があげられている。
- いやな点、不満な点は世代によって異なり、若年・中年層は、通勤・通学の不便さ、病院等の利用のしにくさ、市街地のにぎわいの無さなど生活利便性への不満をあげている。中高年層は、防災・防犯や交通安全面の不安、安心できない福祉環境への不満があげられ、安全・安心価値を重視している。
- なお、病院など数や質（利用のしやすさ）は、自慢できるものとして小野田地域で比較的共感が高いのに対して、いやな点・不満な点としては山陽地域で共感が高くなっている。
…詳細は報告書参照

① 山陽小野田市の自慢できるもの

山陽小野田市で自慢できるものは、「新幹線、高速道路、空港など交通の便利さ」(39.9%)、「瀬戸内海や山などの自然環境」(36.4%)、「瀬戸内地域の気候・風土」(35.5%)、「日常の買い物の便利さ」(34.5%)、「江汐、物見山公園など都市公園の充実」(30.3%)、「病院などの数や質（利用しやすさ）」(26.5%)などがあがっています。

あなたは、山陽小野田市について自慢できるものは何ですか

回答数 1,407

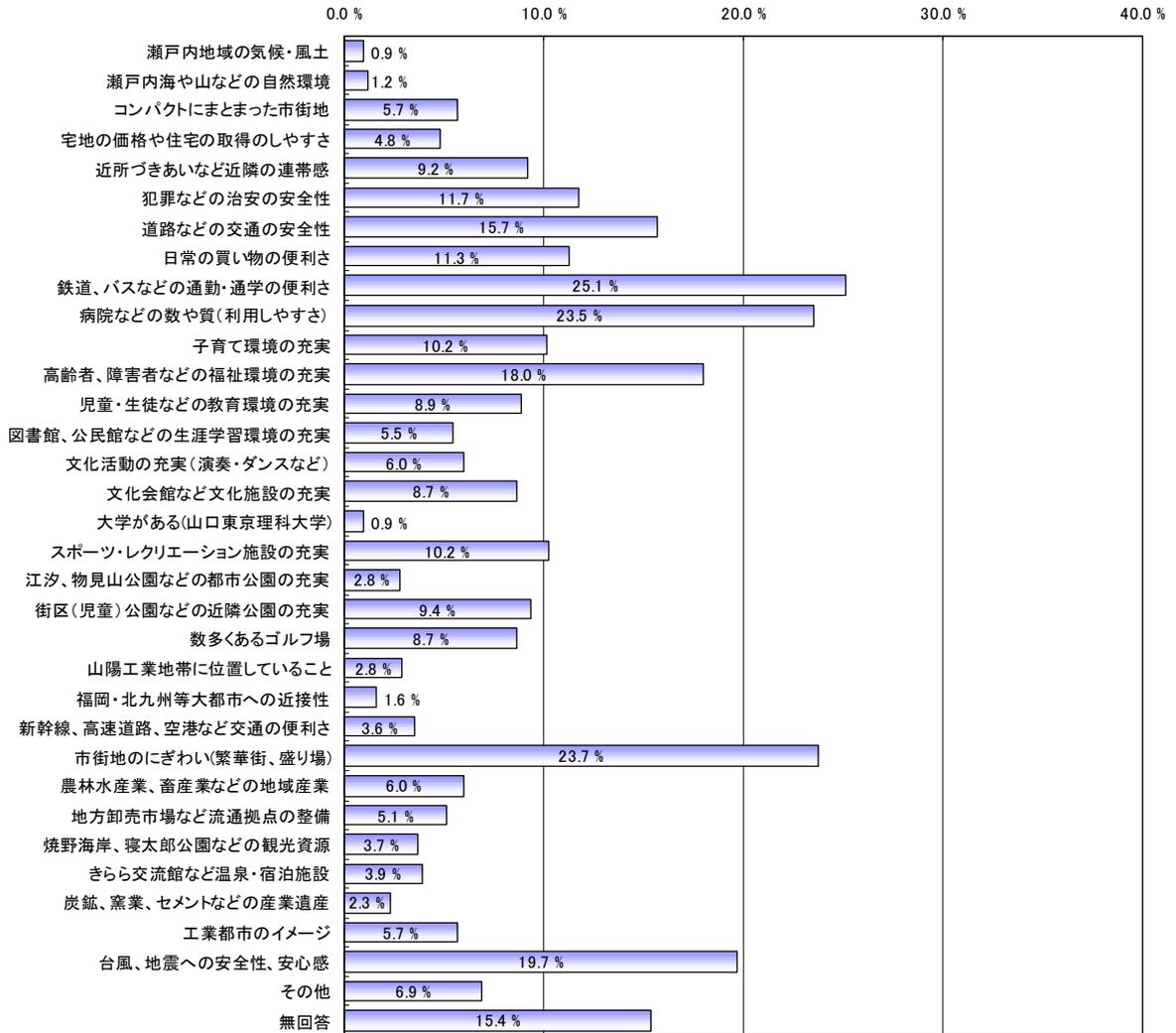


② 山陽小野田市のいやな点、不満な点

山陽小野田市でいやな点、不満な点は、「鉄道、バスなどの通勤・通学の便利さ」(25.1%)、「市街地のにぎわい(繁華街、盛り場)」(23.7%)、「病院などの数や質(利用しやすさ)」(23.5%)、「台風、地震への安全性、安心感」(19.7%)、「高齢者、障害者などの福祉環境の充実」(18.0%)、「道路などの交通の安全性」(15.7%)、「犯罪などの治安の安全性」(11.7%)などがあがっています。

あなたにとって山陽小野田市のいやな点、不満な点は何ですか

回答数 1,407



◆ 市政に対する評価と課題

① 市民主役の行政運営の確立

- 行財政改革の推進に対して最も不満度が高い。
- 一方、重要度は、行財政改革の推進が最も高く、次いで市民主役の地域づくりの推進、公共施設等の効率的な運営と続いている。

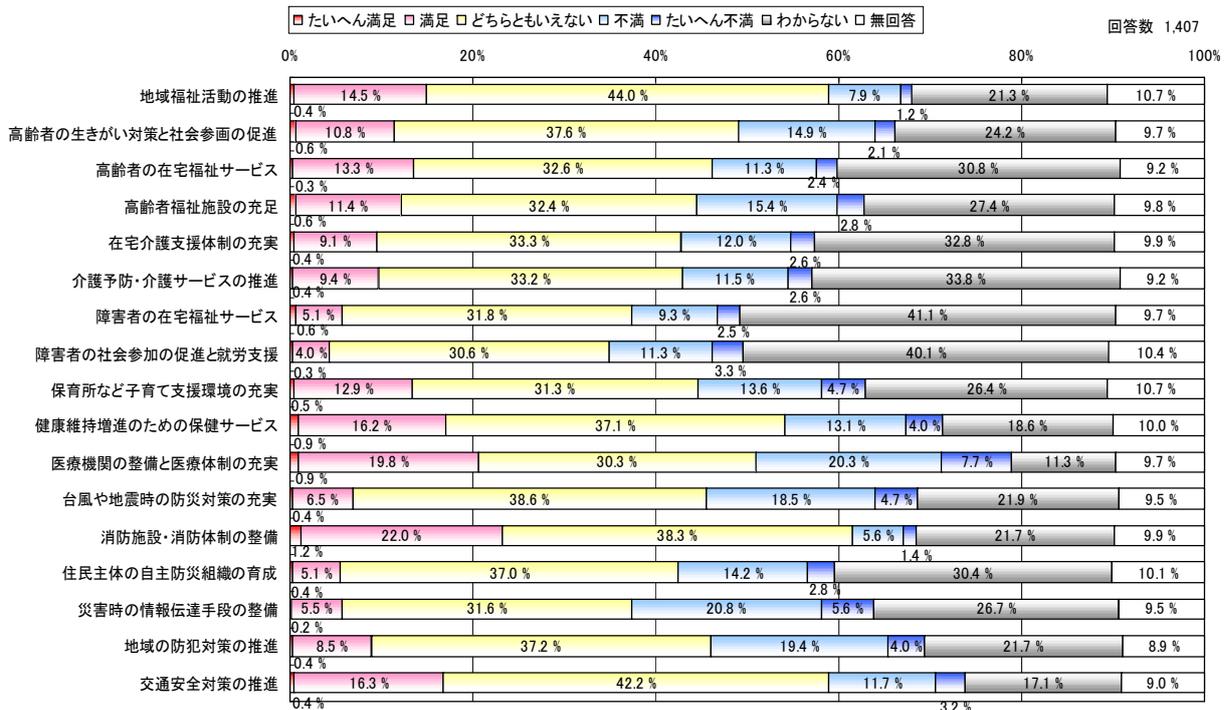
…詳細は報告書参照

<評価>

市民主役の行政運営の確立に関する項目に対しては、ほとんどが不満という評価が与えられています。

「行財政改革の推進」に対して不満度が最も高く、次いで「公共施設等の効率的運営・管理と有効活用の推進」、「地域リーダー・人材の育成」と続いています。

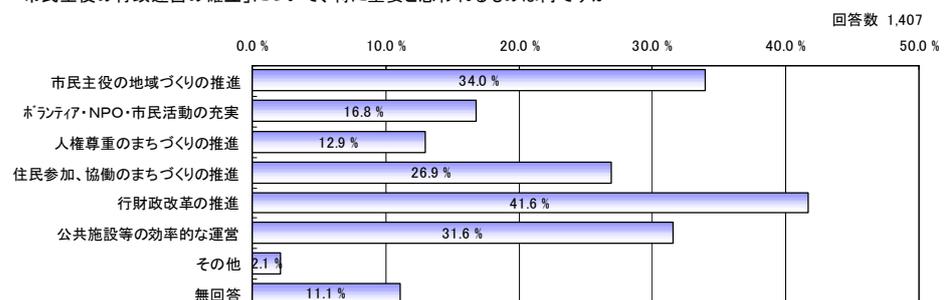
安心・安全環境の充実に対する評価と課題



<重要度>

市民主役の行政運営の確立では、「行財政改革の推進」が 41.6%で最も重視され、次いで「市民主役の地域づくりの推進」(34.0%)、「公共施設等の効率的な運営」(31.6%)と続いています。

「市民主役の行政運営の確立」について、特に重要と思われるものは何ですか



② 安全・安心環境の充実

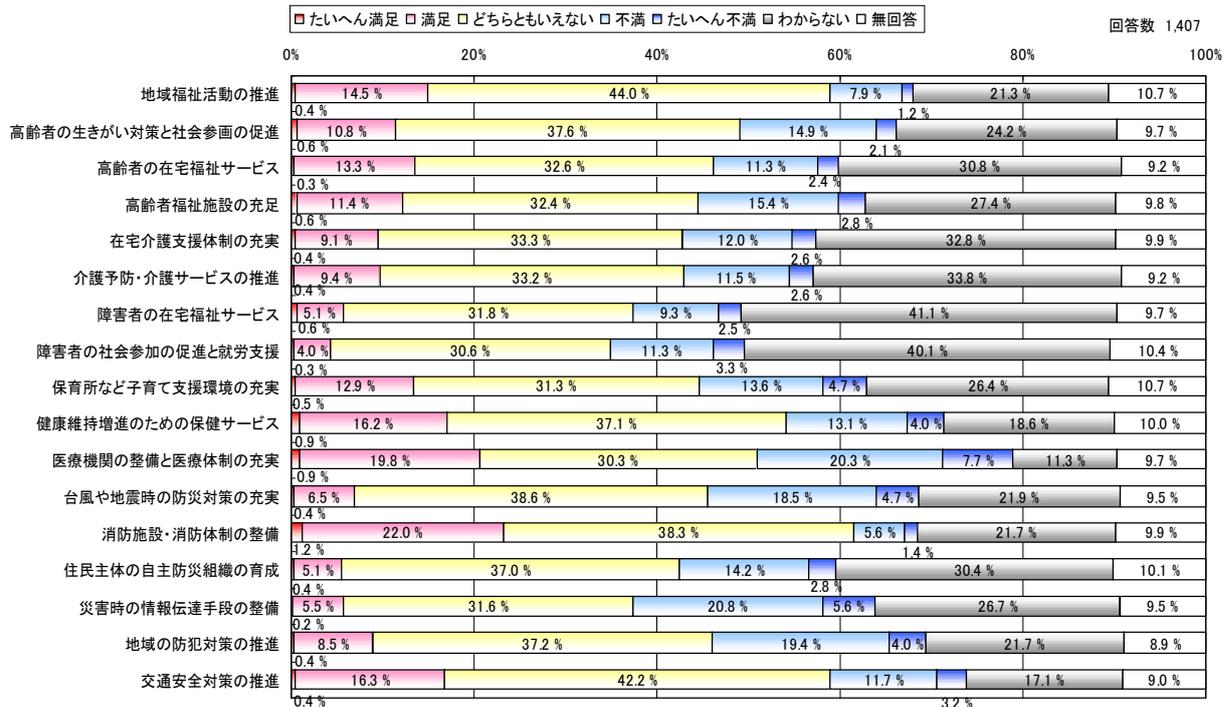
- 消防施設・消防体制の整備、地域福祉活動の推進に対して満足度が比較的高い。
- 地域の防犯対策の推進、災害時の情報伝達手段の整備、障害者の社会参加の促進と就労支援などに対して不満度が高くなっている。
- 安全・安心環境の充実においては、医療体制の充実が最も重視され、中でも山陽地域で重視されている。
年齢別では、子育て世代の若年・中年層は、子育て支援、防犯対策が求められているのに対して、高年齢層は、高齢者福祉対策を重視している。
- 防災対策は、若年層と高年齢層がともに重視している。

…詳細は報告書参照

<評価>

「消防施設・消防体制の整備」、「地域福祉活動の推進」には、満足度が比較的高いのに対して、「災害時の情報伝達手段の整備」、「障害者の社会参加の促進と就労支援」、「地域の防犯対策の推進」では、不満度が高くなっています。

安心・安全環境の充実に対する評価と課題

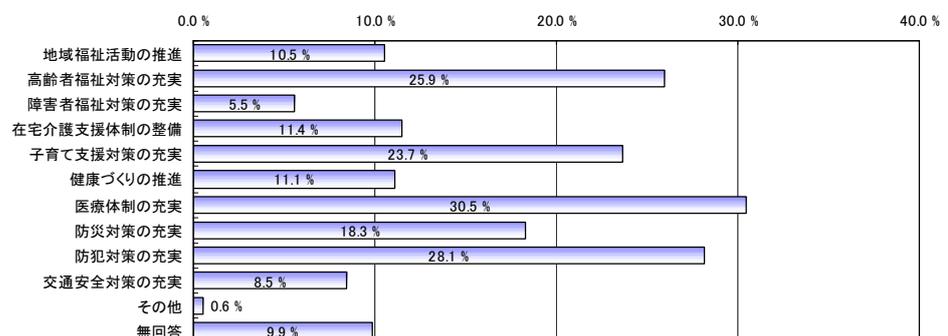


<重要度>

安全・安心環境の充実では、「医療体制の充実」が 30.5%で最も重視され、次いで「防犯対策の充実」(28.1%)、「高齢者福祉対策の充実」(25.9%)、「子育て支援対策の充実」(23.7%)「防災対策の充実」(18.3%)と続いています。

「安心・安全環境の充実」について、特に重要と思われるものは何ですか

回答数 1,407



③ 教育・文化環境の充実

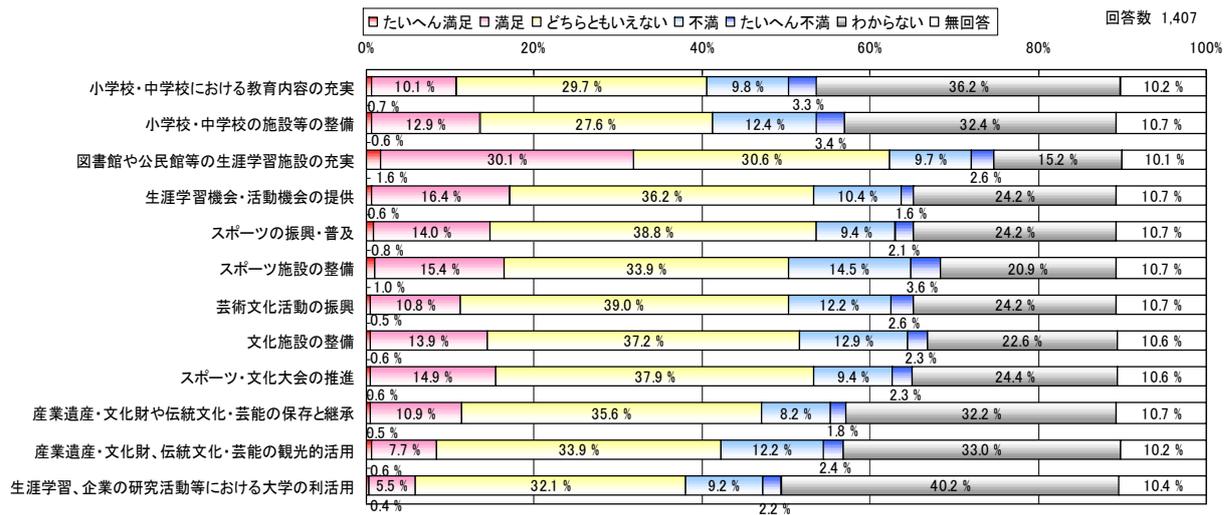
- 図書館や公民館等の生涯学習施設の充実、生涯学習機会・活動機会の提供、スポーツの振興・普及については、満足度が高い。
- 大学を活用した生涯学習の充実、産業遺産・伝統文化等の観光的活用については校区を問わず不満度が高い。
- 教育・文化環境の充実においては、小中学校における教育内容の充実が最も重視され、さらに小中学校の整備、生涯学習機会の提供が求められている。

…詳細は報告書参照

<評価>

図書館や公民館等の生涯学習施設の充実、「生涯学習機会・活動機会の提供」、「スポーツの振興・普及」は、満足度が比較的高いものに対して、「生涯学習、企業の研究活動等における大学の利活用」、「産業遺産・文化財や伝統文化・芸能の観光的活用」では、不満度が高くなっています。

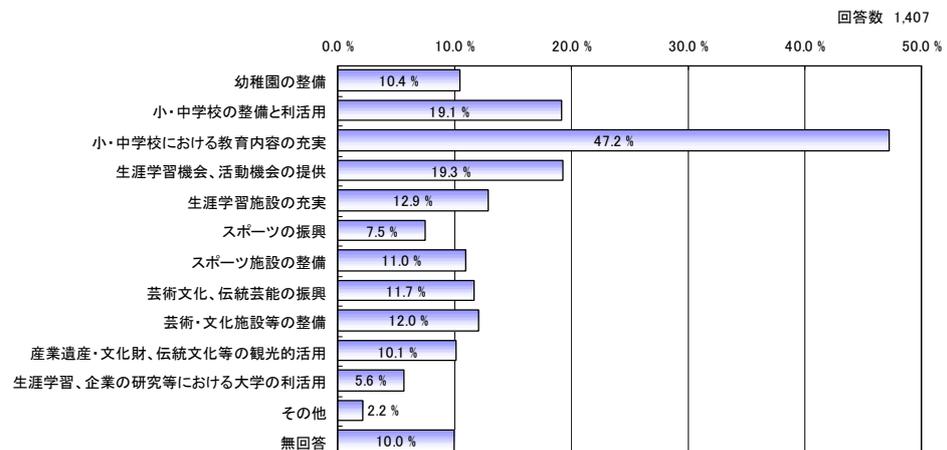
教育・文化環境の充実に対する評価と課題



<重要度>

教育・文化環境の充実では、「小・中学校における教育内容の充実」が47.2%で最も重視され、次いで「生涯学習機会、活動機会の提供」(19.3%)、「小・中学校の整備と利活用」(19.1%)と続いています。

「教育・文化環境」について、特に重要と思われるものは何ですか



④ にぎわい・活力環境の創出

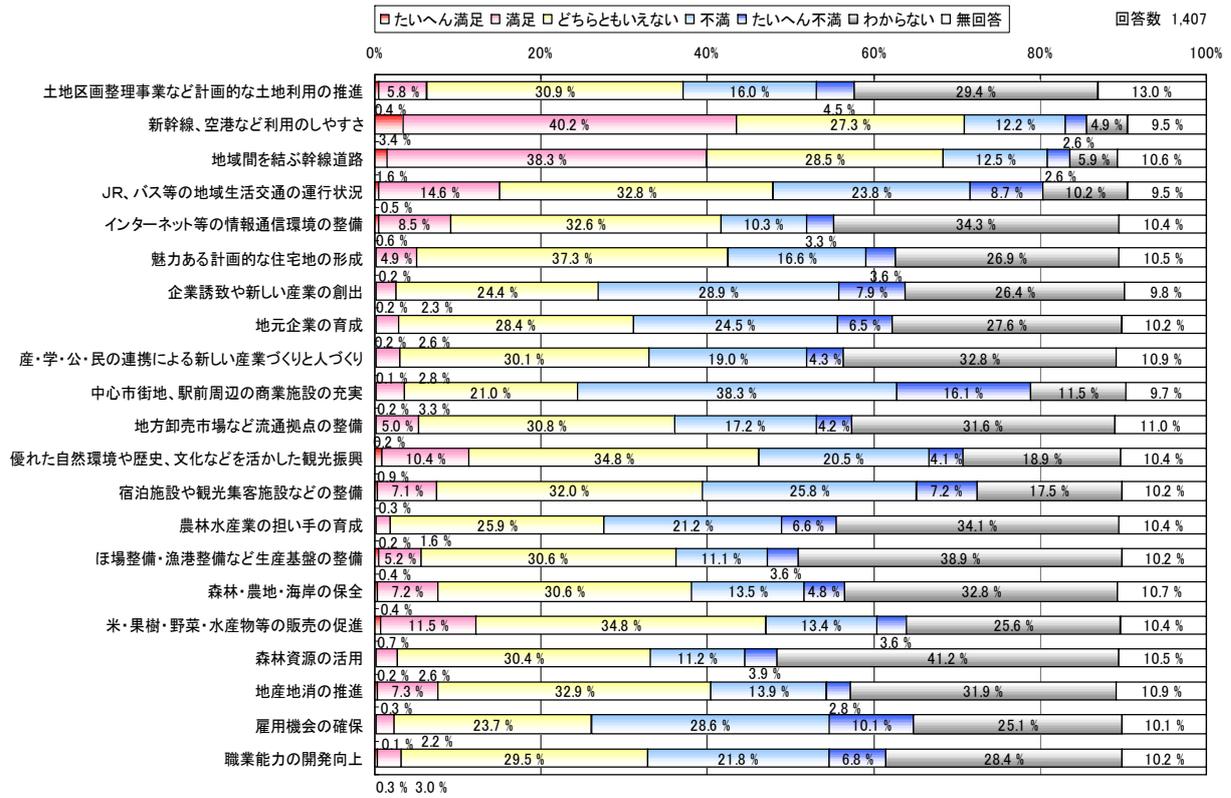
- 新幹線、空港など利用のしやすさ、地域間を結ぶ幹線道路は、満足度が比較的高い。
- 中心市街地、駅周辺の商業施設の充実、雇用機会の確保、企業誘致や新しい産業の創出については、不満度が高い。
- にぎわい・活力環境の創出においては、中心市街地、駅周辺の商業施設の充実が最も重視され、さらに企業誘致や新しい産業の創出、雇用機会の確保が求められている。

…詳細は報告書参照

<評価>

「新幹線、空港など利用のしやすさ」、「地域間を結ぶ幹線道路」は、満足度が比較的高いものに対して、「中心市街地、駅周辺の商業施設の充実」、「雇用機会の確保」、「企業誘致や新しい産業の創出」では、不満度が高くなっています。

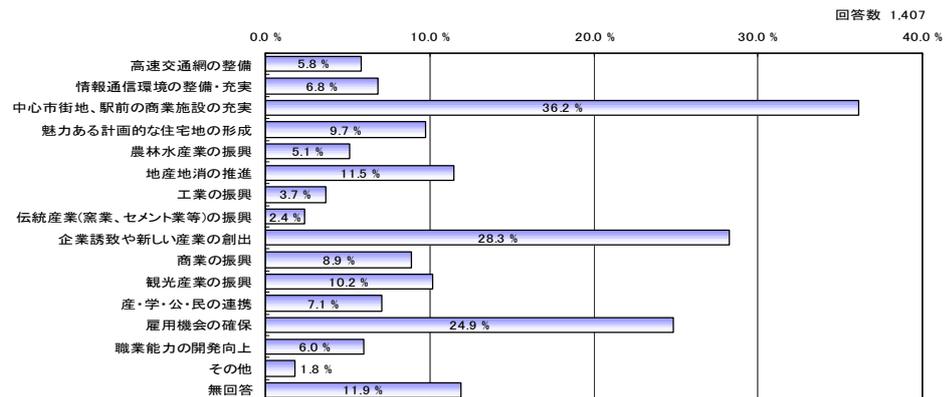
にぎわい・活力環境の創出に対する評価と課題



<重要度>

にぎわい・活力環境の充実では、「中心市街地、駅周辺の商業施設の充実」が 36.2%で最も重視され、次いで「企業誘致や新しい産業の創出」(28.3%)、「雇用機会の確保」(24.9%)と続いています。一方、「工業の振興」「伝統産業(窯業、セメント業等)の振興」は、3%前後にすぎません。

「にぎわい・活力環境の創出」について、特に重要と思われるものは何ですか



⑤ 定住環境の充実

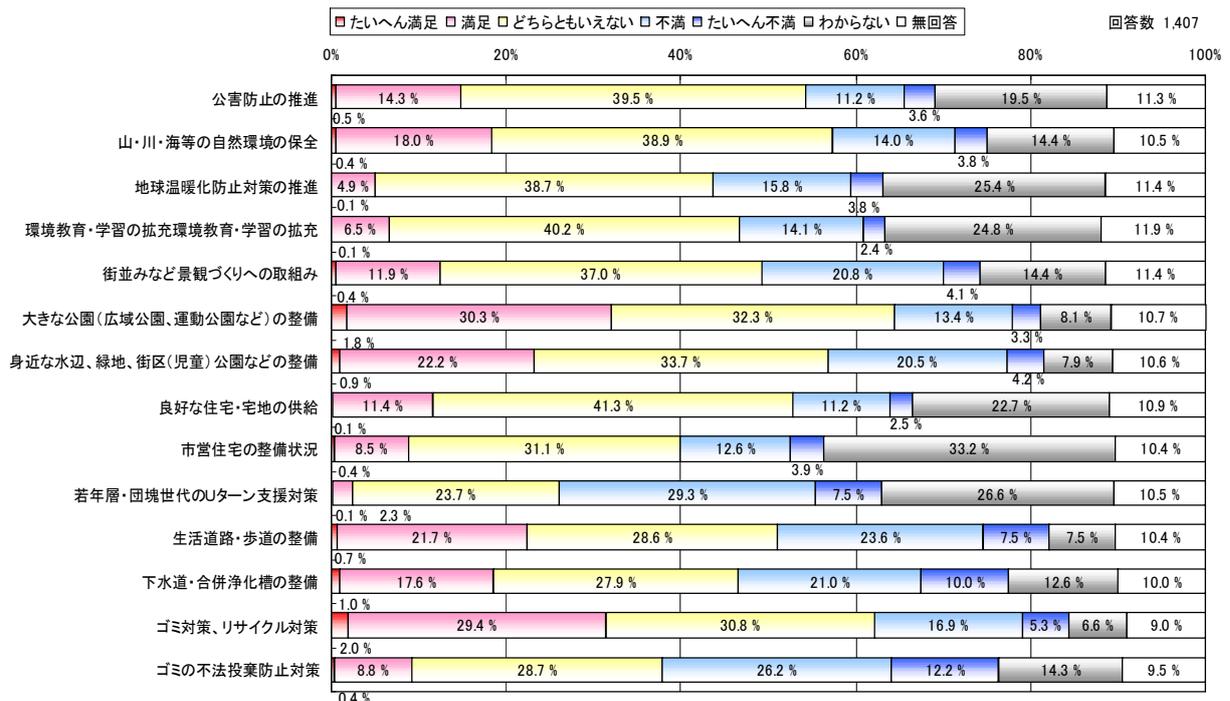
- 大きな公園（広域公園、運動公園など）の整備、ゴミ対策、リサイクル対策は、満足度が高い。
- 一方、若年層・団塊世代のUターン支援対策、ゴミの不法投棄防止対策は不満度が高く、地球温暖化防止対策、下水道・合併浄化槽の整備は、不満度が比較的高い。
- 定住環境の充実においては、若年層・団塊世代のUターン支援対策が最も重視され、さらに自然環境の保全や環境教育の推進、下水道・合併浄化槽の整備、ゴミ対策、リサイクル対策など環境対策が求められている。

…詳細は報告書参照

<評価>

「大きな公園（広域公園、運動公園など）の整備」、「ゴミ対策、リサイクル対策」は、満足度が高くなっています。一方、「若年層・団塊世代のUターン支援対策」、「ゴミの不法投棄防止対策」は不満度が高く、「地球温暖化防止対策」、「下水道・合併浄化槽の整備」は不満度が比較的高くなっています。

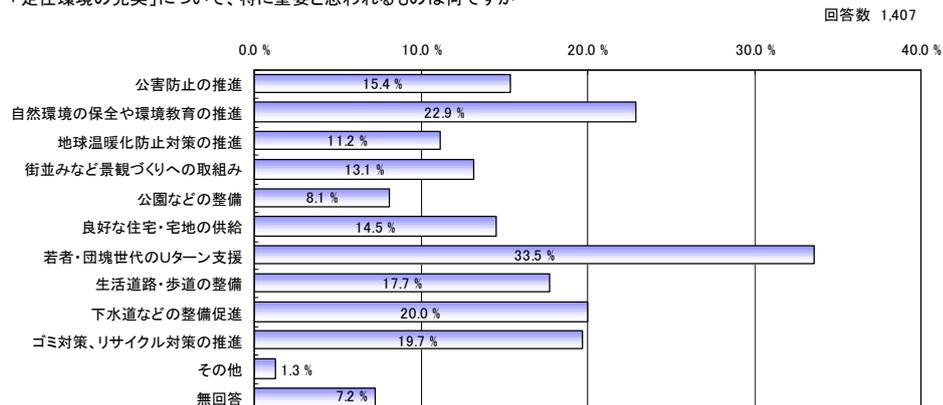
定住環境の充実に対する評価と課題



<重要度>

定住環境の充実では、「若年層・団塊世代のUターン支援対策」が33.5%で最も重視され、次いで「自然環境の保全や環境教育の推進」(22.9%)、「下水道・合併浄化槽の整備」(20.0%)、「ゴミ対策、リサイクル対策」(19.7%)と続いています。

「定住環境の充実」について、特に重要と思われるものは何ですか

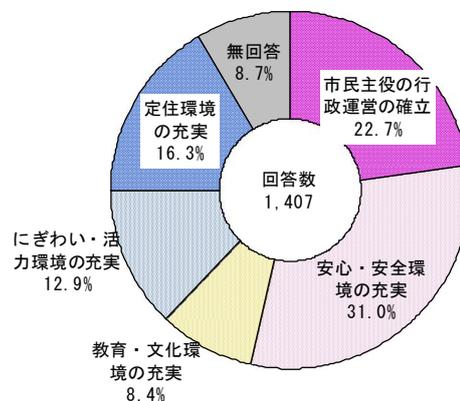


⑥ まちづくりのテーマ

- まちづくりのテーマとしては、安全・安心環境の充実が最も重視され、次いで市民主役の行政運営の確立、定住環境の充実と続いている。
- 最近1年間に利用したことのある市の施設からみると、山陽小野田市は、図書館、公民館、市民館、きらら交流館、文化会館などの利用率が高く、生涯学習活動や芸術文化活動の盛んなまちであることを示している。

…詳細は報告書参照

最も重視するまちづくりのテーマとしては、「安全・安心環境の充実」が31.0%で最も重視され、次いで「市民主役の行政運営の確立」(22.7%)、「定住環境の充実」(16.3%)、「にぎわい・活力環境の創出」(12.9%)と続いています。



◆ 行財政改革

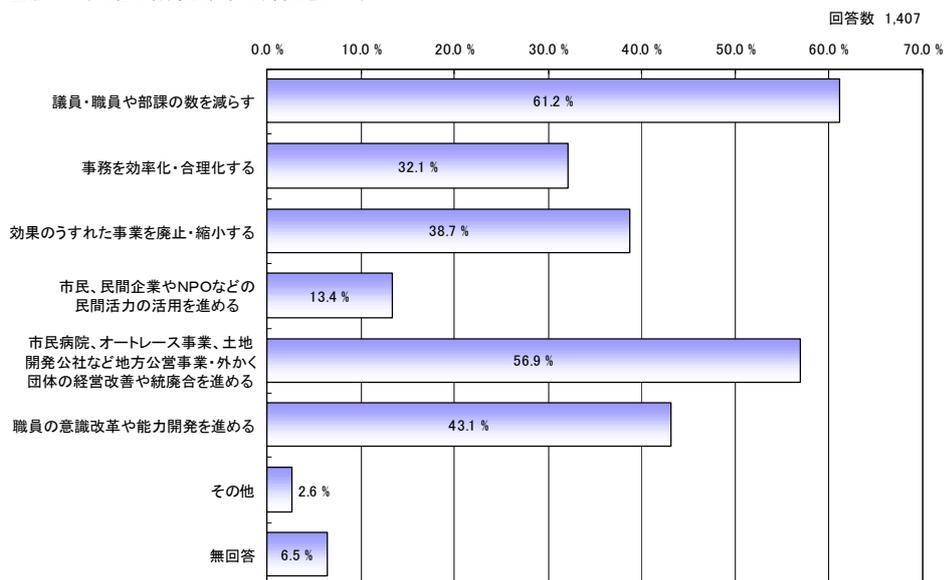
- 行財政改革としては、議員・職員や部課の数の削減が最も重視され、さらに市民病院、オートレース事業、土地開発公社などの経営改善や統廃合、職員の意識改革や能力開発が求められている。
- 行財政改革の進め方としては、行財政状況のわかりやすい情報公開が最も重視され、さらに市民の意見が反映できる機会の一層の確保が求められている。

…詳細は報告書参照

① 山陽小野田市の重点的に取り組むべき行財政改革

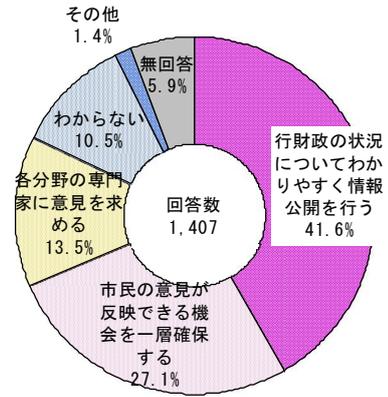
行財政改革としては、「議員・職員や部課の数を減らす」が61.2%で最も重視され、次いで「市民病院、オートレース事業、土地開発公社など地方公営事業・外かく団体の経営改善や統廃合を進める」(56.9%)、「職員の意識改革や能力開発を進める」(43.1%)、「効果のうすれた事業を廃止・縮小する」(38.7%)と続いています。

重点的に取り組む行財政改革は、何と意思ですか



② 最も重視すべき行財政改革の進め方

行財政改革の進め方としては、「行財政の状況についてわかりやすい情報公開を行う」が41.6%で最も重視され、次いで「市民の意見が反映できる機会を一層確保する」(27.1%)と続いています。



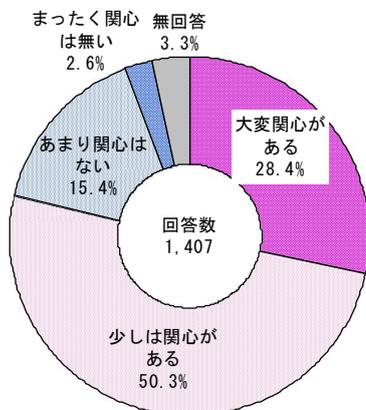
◆ 市政への市民参加について

- 市政への関心度の高い関心派は、78.7%であるのに対して、関心度の低い低関心派は、18.0%となっている。
- 市政への意見等がよく反映されるとする反映派は、18.6%であるのに対して、反映されにくいとする低反映派は、35.4%である。反映派は、60歳以上に比較的多いのに対して、低反映派は、60歳未満に多くなっている。
- 市政への意見等の反映機会や方法に対する満足度をみると、満足派は16.0%であるのに対して、不満派は、19.6%となっている。一方、「どちらともいえない」が59.1%に達し、判断しかねている。
- 市政への市民参加、意見・提言の反映方法としてはアンケート調査が33.5%で最も多く、次いで住民説明会・公聴会の開催、パブリックコメントと続いている。

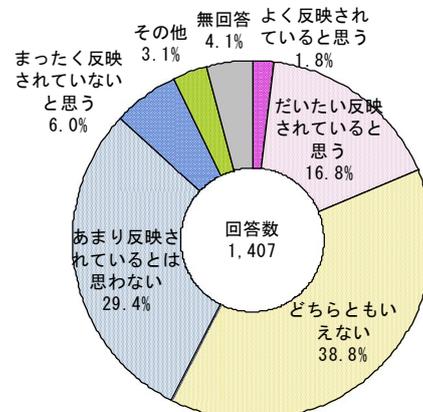
…詳細は報告書参照

<市政参加へのあり方>

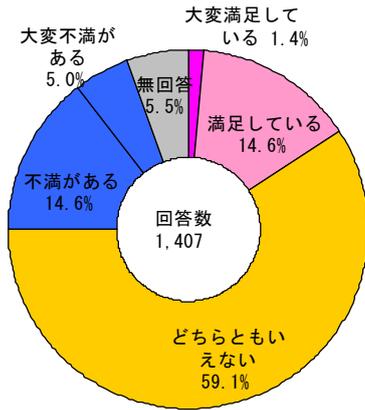
① 市政への関心度



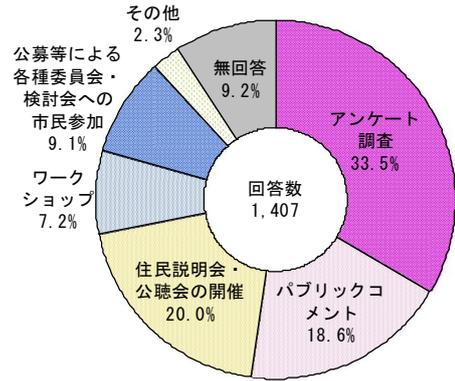
② 市政への意見・提言の反映度



③ 市政への意見・提言の機会や手段、方法への満足度



④ 望ましい市政への市民参加、意見・提言の反映方法



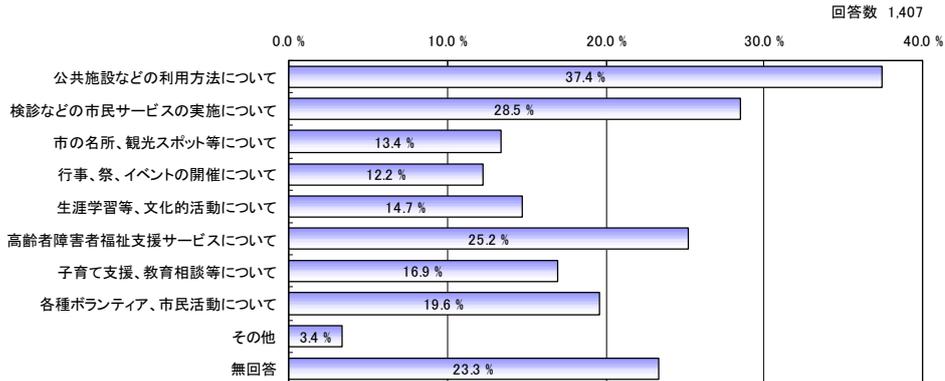
<広報のあり方>

- 不足を感じる市からの情報としては、「公共施設などの利用方法について」が4割弱で最も多い。
次いで、「検診などの市民サービスの実施について」、「高齢者・障害者福祉支援サービスについて」、「各種ボランティア、市民活動について」、「子育て支援、教育相談等について」、「生涯学習、文化的活動について」と続いている。
- 市からの情報の取得方法としては、「広報紙」が9割弱で最も多く、次いで「回覧文書」と続いている。
- なお、「インターネット（市のホームページ）」は1割弱にすぎない。

…詳細は報告書参照

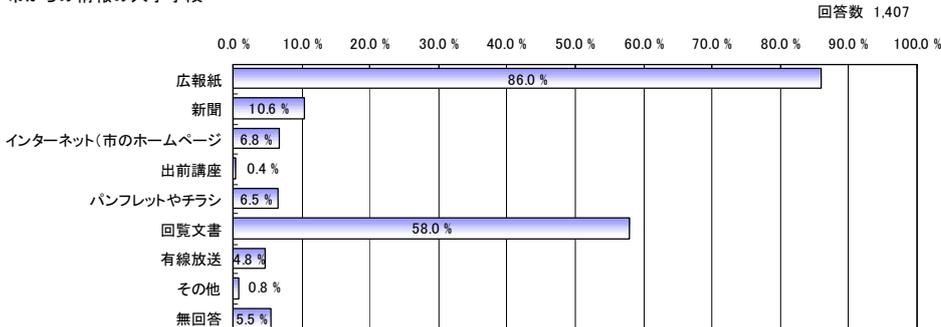
① 不足を感じる市からの情報

市からの情報提供について、不足と感じるもの



② 市からの情報の取得方法

市からの情報の入手手段



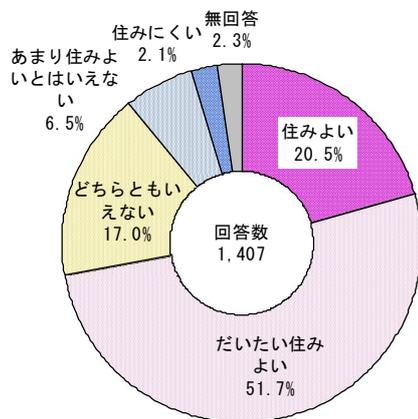
◆ 今後の居留意向について

<住み続けたい意向>

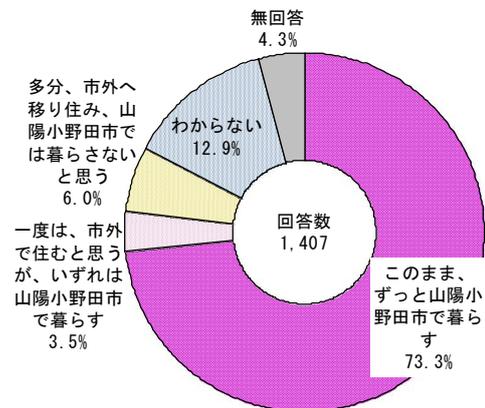
- 山陽小野田市の住み良さについては、住み良い派が7割強であるのに対して、住みにくい派は1割弱。
- 山陽小野田市への愛着度としては、「愛着を感じる」が6割であるのに対して、「愛着を感じない」は1割弱。
- 山陽小野田市への今後の居留意向をみると、市内居住派が7割強であるのに対して、市外居住派1割弱、Uターン派1割弱。
- 山陽小野田市に住み続けたい理由としては、「家や土地があるから」が8割で最も多い。次いで、「親・親族がいるから」、「老後を地元で暮らしたいから」、「地域や人に愛着があるから」と続き、コミュニティへの愛着を示すものがあがっている。
- 今後、市外に住みたい理由としては、「親・親族がいないから」、「買い物などが不便だから」がそれぞれ3割弱で最も多い。次いで、「居住環境が悪いから」、「老後に不安があるから」、「医療環境に不安があるから」が続き、生活利便性への不満を示すものがあがっている。

…詳細は報告書参照

① 山陽小野田市の住み良さ

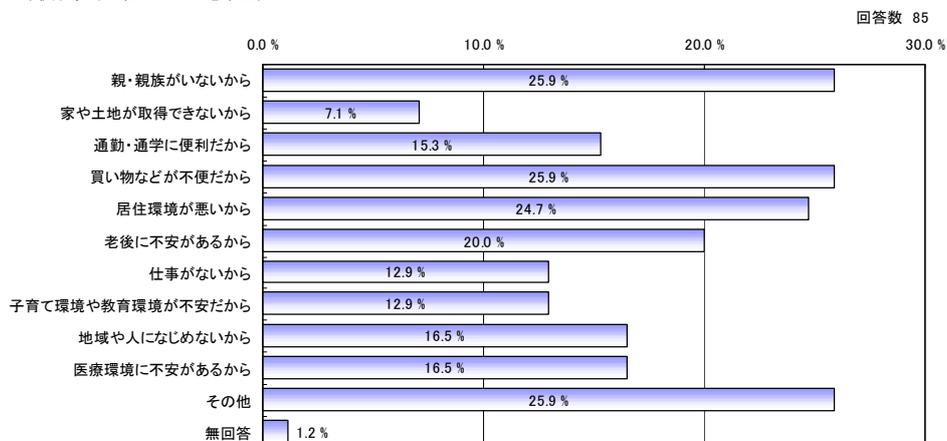


② 山陽小野田市への今後の居留意向



③ 今後、市外に住みたいと思う理由

今後、市外に住みたいと思う理由

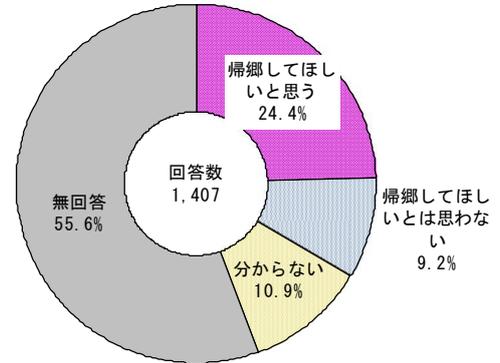


<Uターンの促進>

- 転出している子ども（孫）への帰郷期待意識としては、「帰郷してほしいと思う」が2割強であるのに対して、「帰郷してほしいとは思わない」は1割弱。
- 子ども（孫）の帰郷に必要な施策としては、「働く場の確保」が9割弱で最も多い。次いで、「子育てや教育環境の充実」、「若者が集える複合施設の整備」、「土地・住宅の確保」、「高齢者福祉サービスの充実」、「下水道など居住環境の整備」と続いている。

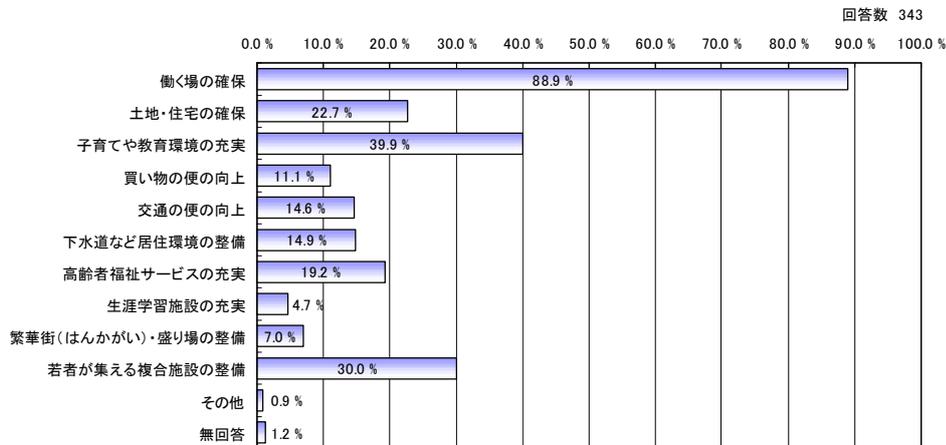
…詳細は報告書参照

① 転出している子ども（孫）への帰郷期待意識



② 子ども（孫）の帰郷に必要な施策

子ども（孫）が帰郷するのに必要な施策

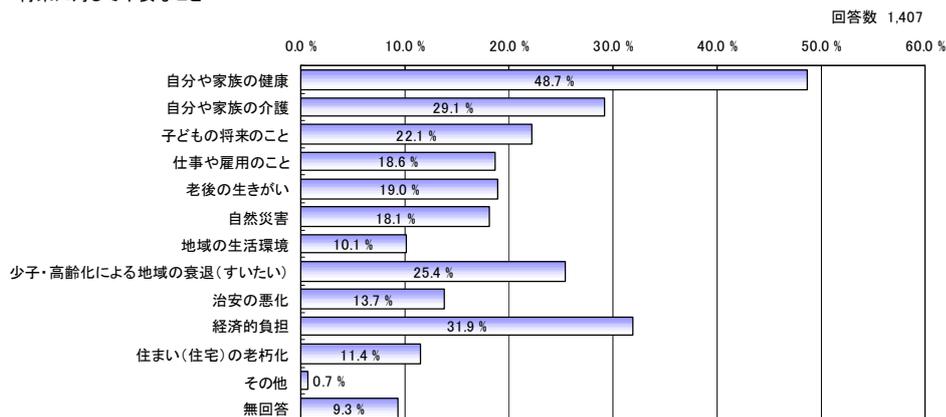


<将来への不安>

- 将来への不安については、「自分や家族の健康」が5割弱で最も多い。次いで、「経済的負担」、「自分や家族の介護」、「少子高齢化による地域の衰退」と続いている。

…詳細は報告書参照

将来に対して不安なこと



<中学生アンケート編>

◆アンケート概要及び回答者属性

(1) 調査の方法

① 対象者

市内の中学2年生を対象にしました。

② 調査の方法

各中学校による配布・回収を行い、無記名回答方式を採用しました。

③ 調査期間

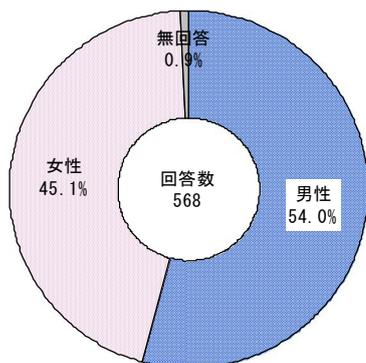
平成18年1月13日～1月23日

④ 回収状況

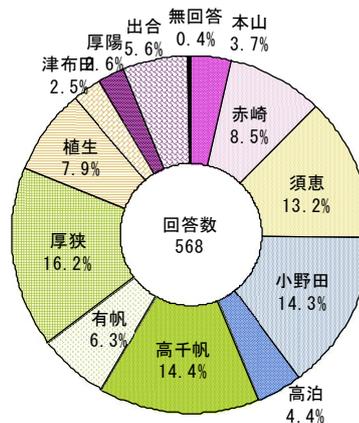
配布数	598 票
回収数	578 票
回収率	96.7%
回答数	568 票
回答率	95.0%

(2) 回答者の属性

① 性別



② 校区

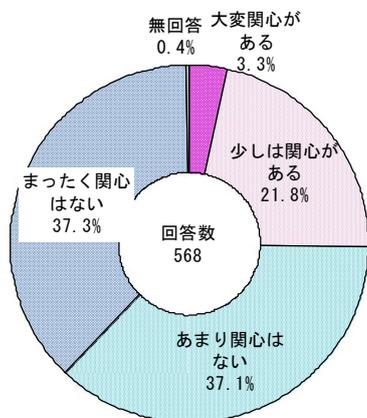


◆市役所の仕事への関心

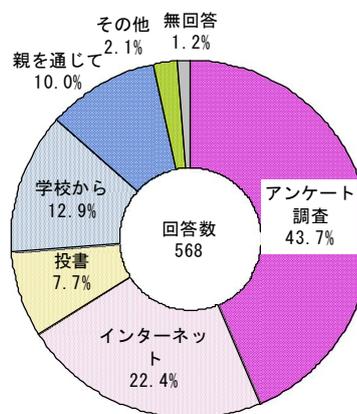
- 市役所の仕事への関心度は、低関心派が7割強であるのに対して、関心派は2割強となっている。
- 市への意見具申の方法として望ましいものは、「アンケート調査」が4割強で最も多い。次いで、「インターネット」、「学校から」と続いている。

…詳細は報告書参照

① 市役所の仕事への関心度



② 望ましい市へ意見を言う方法

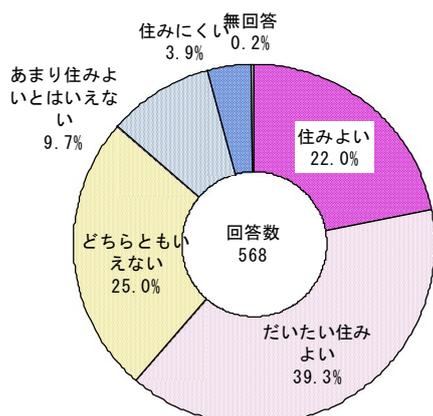


◆山陽小野田市の住み心地

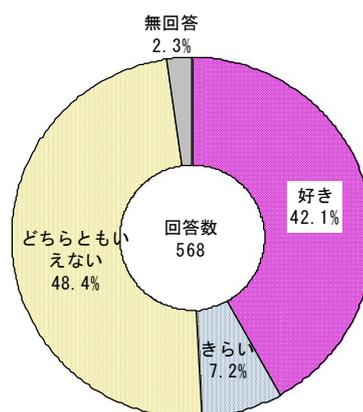
- 山陽小野田市の住み心地について、住みよい派は、6割であるのに対して、住みにくい派は、1割強にすぎない。
- 「自分のまち」への好き・きれいについて、好きな人は4割、きれいな人は1割未満であるのに対して、どちらともいえない人は5割弱である。
- 山陽小野田市の自慢できるものは、瀬戸内海や山などの自然環境、図書館・公民館などの生涯学習施設、福岡・北九州など大都市との近接性、高速交通網、きらら交流館など温泉・宿泊施設があがっている。
- 山陽小野田市のいやなところ、不満な点は、防犯・防災・交通安全面の不安、日頃の買い物の不便さ、まちのにぎわいの無さ、身近な公園の少なさ、地元産業の就職先としての魅力の無さがあがっている。

…詳細は報告書参照

① 山陽小野田市の住み心地



② 「自分のまち」への好き・きれい

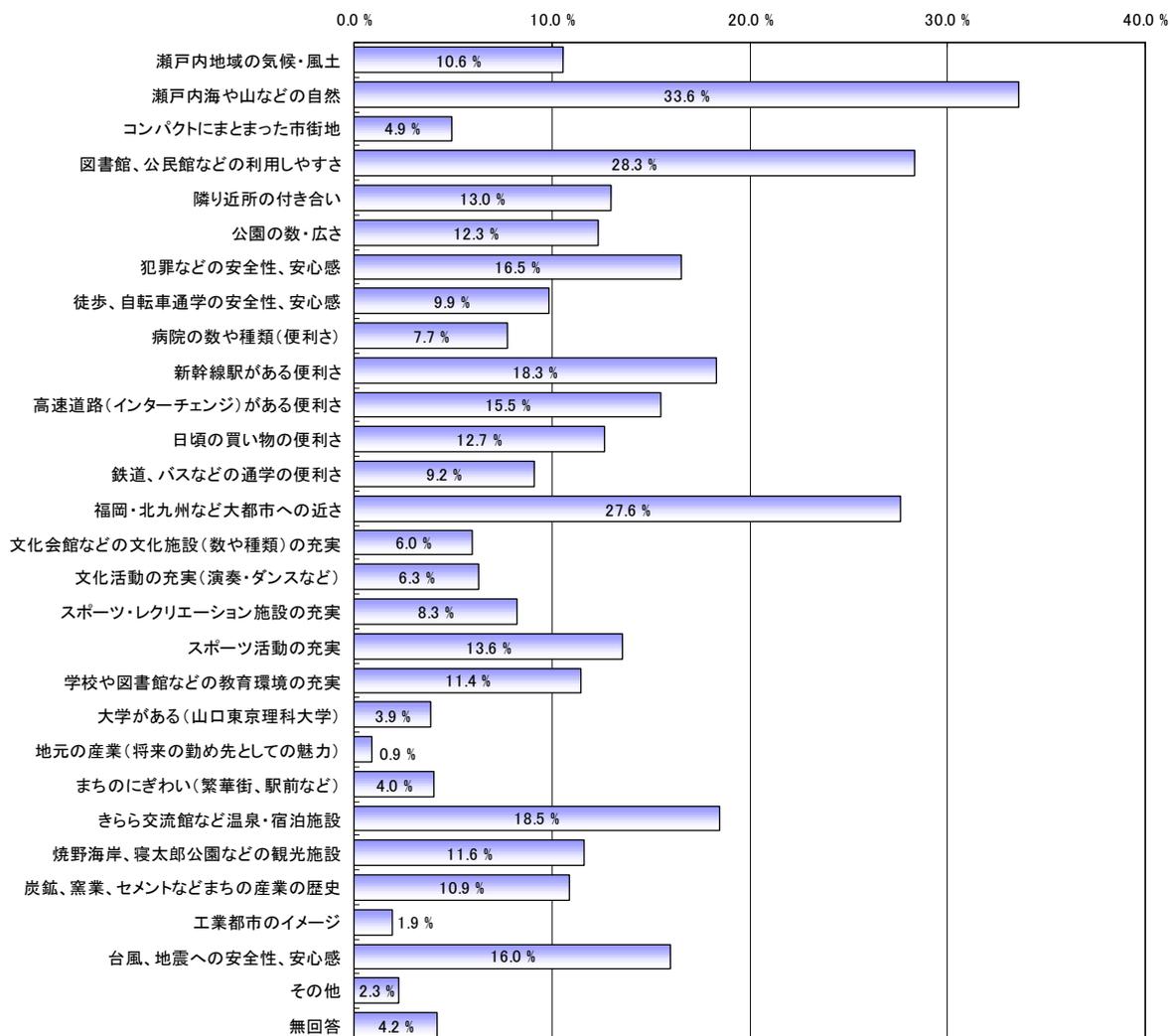


③ 山陽小野田市の自慢できるもの

山陽小野田市で自慢できるものは、「瀬戸内海や山などの自然」(33.6%)、「図書館、公民館などの利用のしやすさ」(28.3%)、「福岡、北九州など大都市への近さ」(27.6%)、「きらら交流館など温泉・宿泊施設」(18.5%)、「新幹線駅がある便利さ」(18.3%)、「犯罪などの安全性、安心感」(16.5%)、「台風、地震への安全性、安心感」(16.0%)、「高速道路(インターチェンジ)がある便利さ」(15.5%)があがっています。

あなたは、山陽小野田市について自慢できるものは何ですか

回答数 568

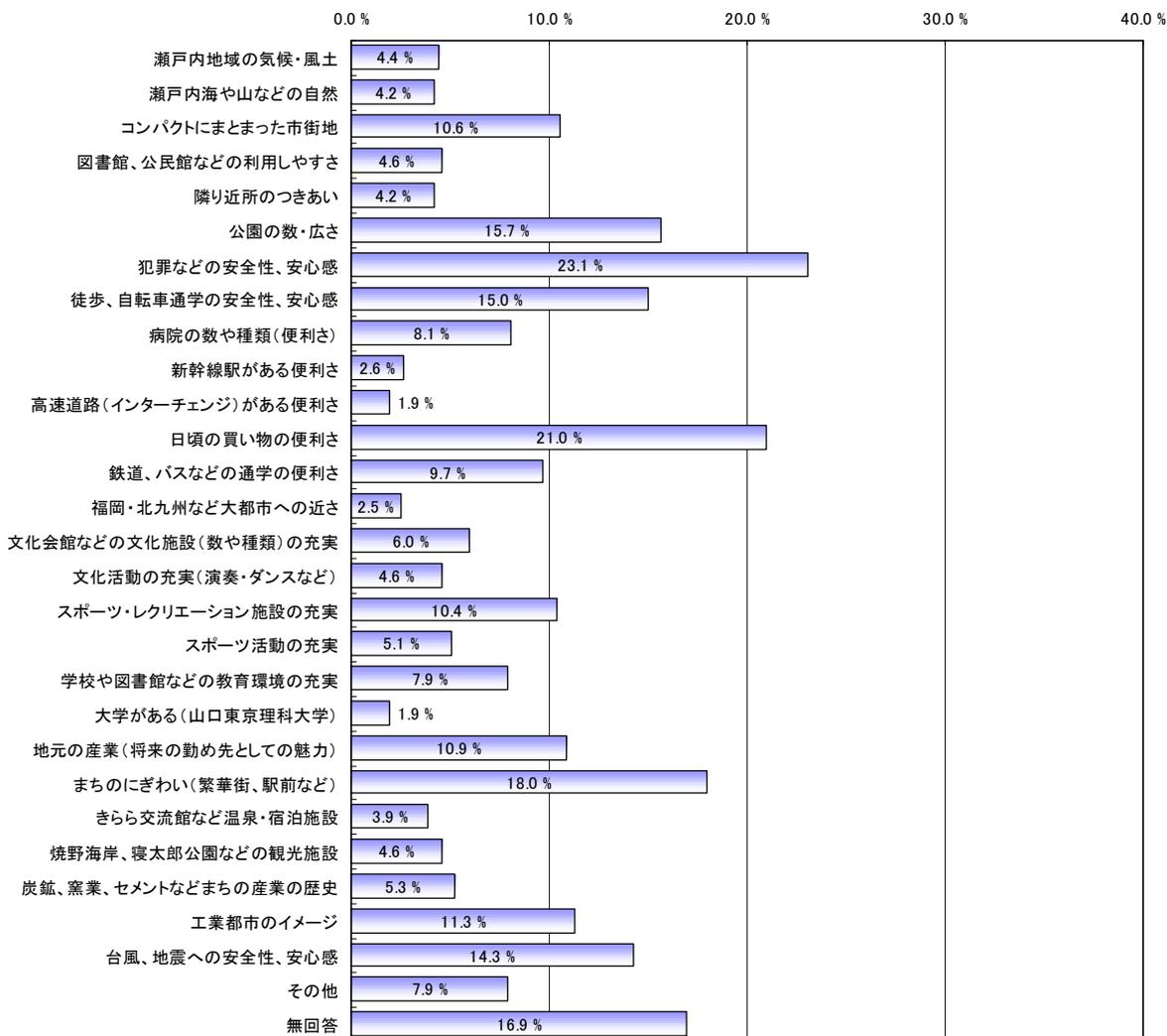


④ 山陽小野田市のいやなところ・不満な点

山陽小野田市でいやな点、不満な点は、「犯罪などの安全性、安心感」(23.1%)、「日頃の買い物の便利さ」(21.0%)、「まちなにぎわい(繁華街、駅前)」(18.0%)、「公園の数・広さ」(15.7%)、「徒歩、自転車通学の安全性、安心感」(15.0%)、「台風、地震への安全性、安心感」(14.3%)、「工業都市としてのイメージ」(11.3%)、「地元の産業(将来の勤め先としての魅力)」(10.9%)などがあがっています。

あなたにとって山陽小野田市のいやなところ不満な点は何か

回答数 568

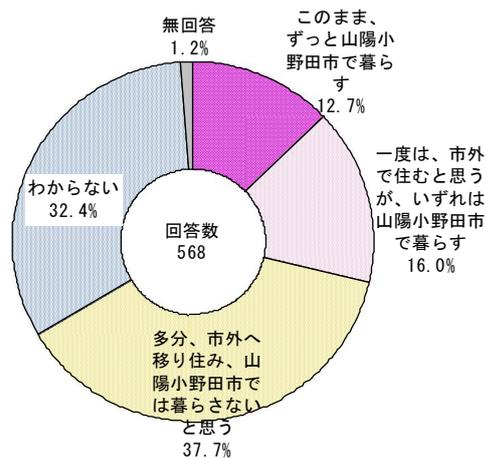


◆あなたの将来について

<今後の居留意向>

- 今後の居留意向としては、市外居住派が4割弱で最も多いのに対して、市内居住派が1割弱、Uターン派が2割弱。
- 将来も山陽小野田市に住み続けたいと思う理由としては、親や親戚がいる、地元が好きなどコミュニティへの愛着を示す内容があがっている。
- 将来、市外で暮らすと思う理由としては、都会へのあこがれ、大学への進学など都市外部からの吸引力と暮らしに不便、希望する仕事の無さなど都市内部への不満があがっている。
…詳細は報告書参照

① 今後も住み続けたい意向



② 将来も山陽小野田市に住み続けたいと思う理由

将来も山陽小野田市で暮らしたいと思う理由

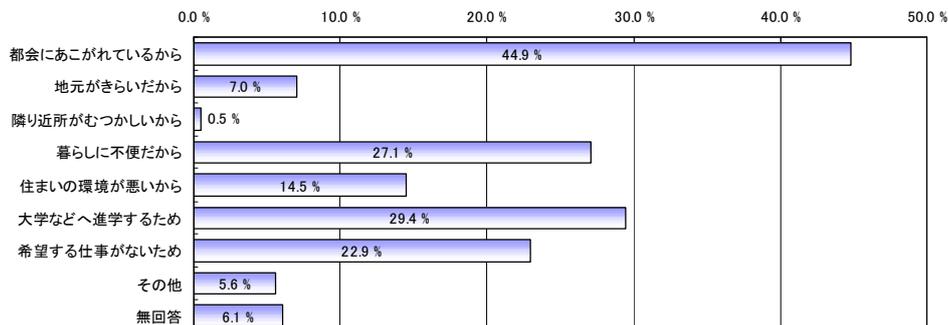
回答数 163



③ 将来、市外で暮らすと思う理由

将来、市外で暮らすと思う理由

回答数 214

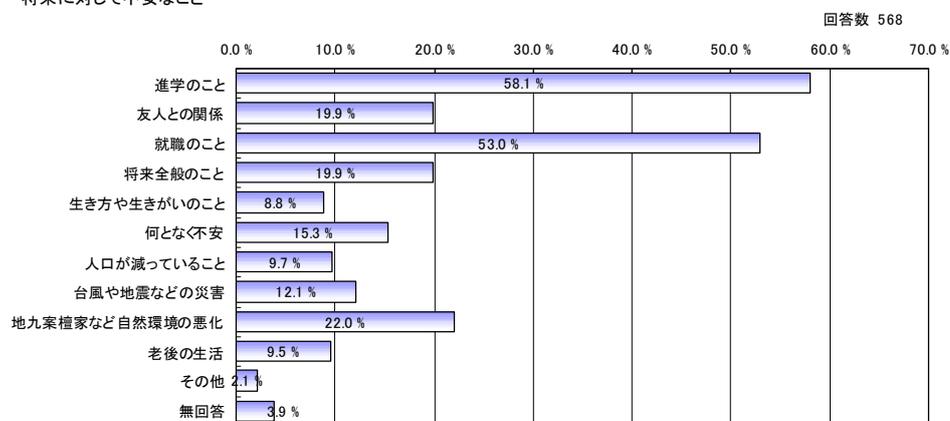


<将来への思い>

- 将来への不安については、進学のこと、次いで就職のこと、地球温暖化など自然環境の悪化、友人との関係、将来全般のこと、何となく不安と続いている。
- 将来の仕事として希望するものは、公務員の仕事が2割強で、最も多い。次いで、電気製品や機械をつくる製造業を除くと、医師・看護師、販売員、美容師・整備工、調理師などの対人サービス業とデザイナー・設計士など対事業所サービス業が多い。
…詳細は報告書参照

① 将来への不安

将来に対して不安なこと

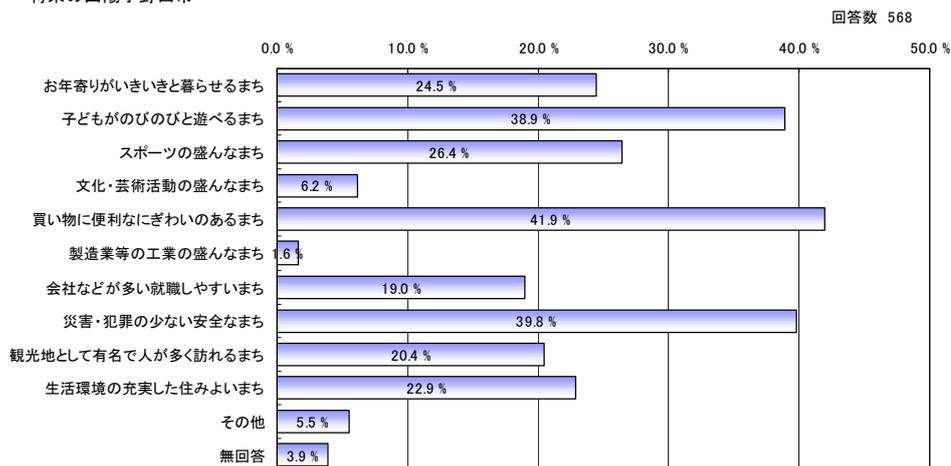


◆今後のまちづくりについて

- 山陽小野田市の将来像としては、「買い物に便利なにぎわいのあるまち」が4割強で最も多い。
- 次いで、「災害・犯罪の少ない安全なまち」、「子どもがのびのびと遊べるまち」、「スポーツの盛んなまち」、「お年寄りがいきいきと暮らせるまち」、「生活環境の充実した住みよいまち」と続き、市民アンケート、職員アンケートの結果と同様に、安全・安心環境、定住環境を重視していることを示している。
- しかし、中学生は、「買い物に便利なにぎわいのあるまち」と「観光地として有名で、人が多く訪れるまち」というにぎわい・活力環境も重視している。
…詳細は報告書参照

① 山陽小野田市の将来像

将来の山陽小野田市



<職員アンケート編>

◆アンケート概要及び回答者属性

(1) 調査の方法

① 対象者

山陽小野田市職員（特別職、臨時職員を除く）全員を対象にしました。

② 調査の方法

各課で配布・回収を行い、無記名回答方式を採用しました。

③ 調査期間

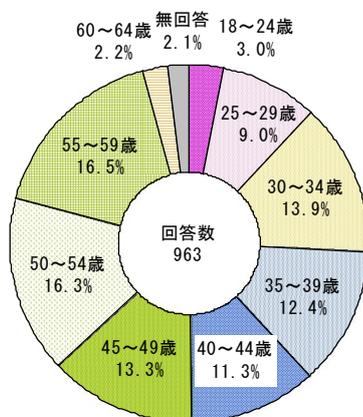
平成18年1月13日～1月23日

④ 回収状況

配布数	1,083 票
回収数	963 票
回収率	88.9%
回答数	963 票
回答率	88.9%

(2) 回答者の属性

① 年齢



◆総合計画に対する考えについて

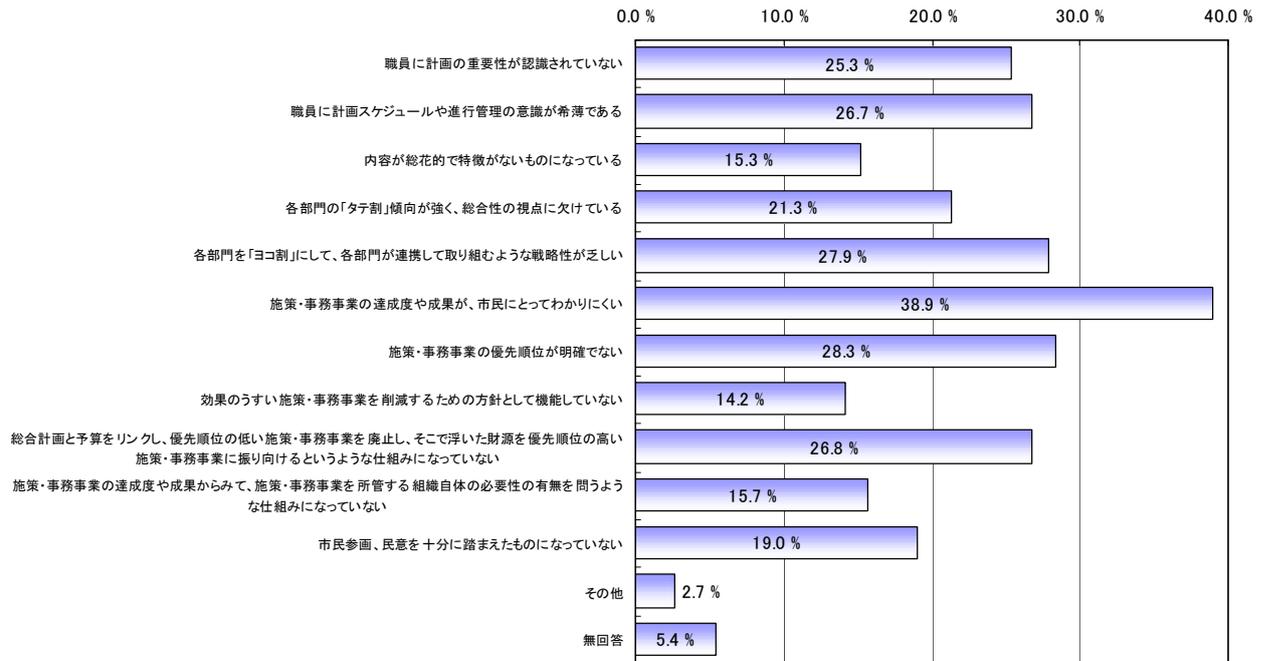
- 従来の総合計画や行財政運営の問題点・課題としては、「施策・事務事業の達成度や成果がわかりにくい」が4割弱で最も多い。
次いで「施策・事務事業の優先順位が明確でない」、「各部門を『ヨコ割』にして、各部門が連携して取り組むような戦略性がない」と続いている。
- 総合計画の改善点としては、「各部門を『ヨコ割』にして、各部門が連携して取り組むような戦略プロジェクトの設定」が4割強で最も多い。
次いで「計画の形成・決定過程における職員参加の推進」、「総合計画と予算との密接な連携」、「施策・事務事業の優先度を明確にする等の行政改革に役立つようにする」と続いている。

…詳細は報告書参照

① 従来の総合計画や行財政運営の問題点・課題

従来の総合計画や行財政運営の問題点・課題

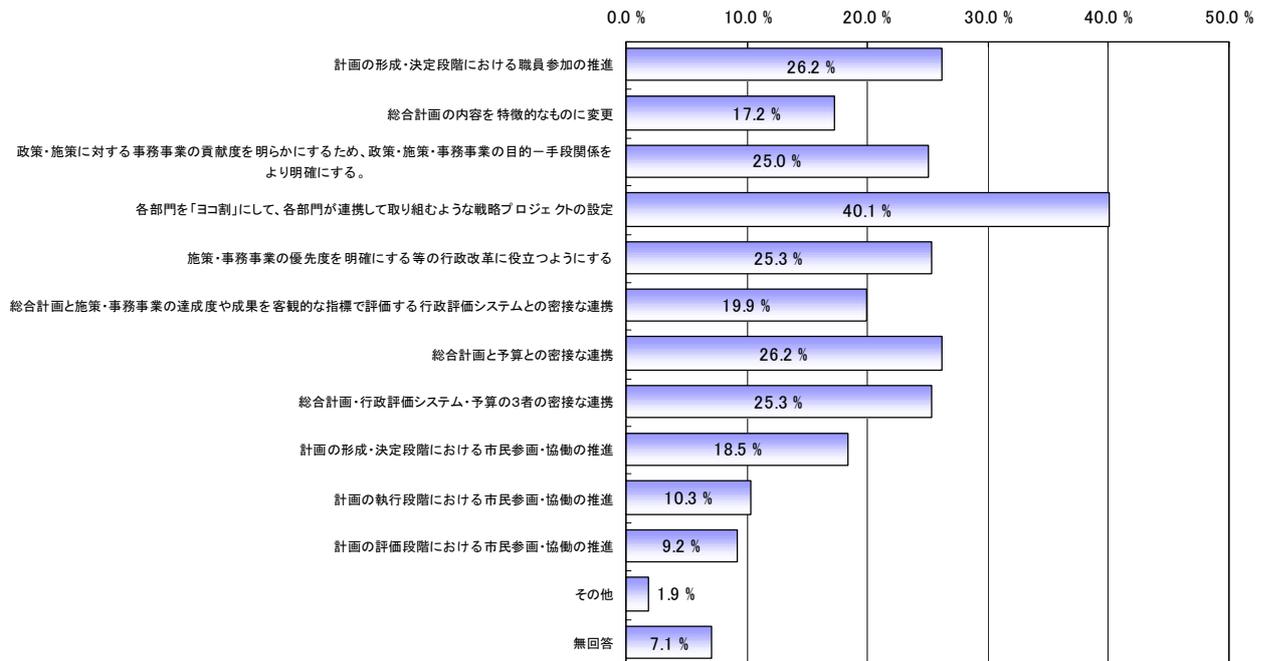
回答数 963



② 従来の総合計画の改善方法

従来の総合計画の改善方法

回答数 963



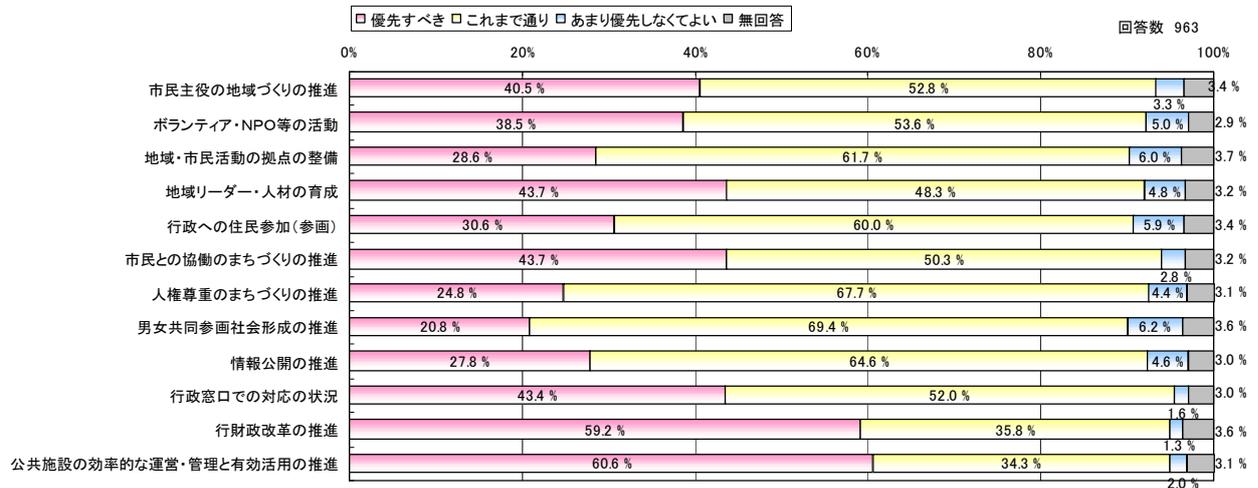
◆ 市政に対する今後の方向

<分野別施策の優先度>

- 市民主役の行政運営の確立では、職員は「公共施設の効率的な運営・管理」が1位、「行財政改革の推進」が2位であるが、ほとんど差がなく、市民でも、「行財政改革の推進」が1位となっている。市民・職員ともに「行財政改革の推進」への思いが強い。
- 安全・安心環境の充実では、職員は「医療機関の整備と医療体制の充実」が5位であるのに対して、市民は「医療体制の充実」が1位となっており、優先度・重要度が異なっている。
- 教育・文化環境の充実では、「小中学校における教育内容の充実」の優先度は、職員、市民ともに1位で、認識が一致している。職員は、大学を地域の重要な資源と認識し、「生涯学習、企業の研究活動等における大学の利活用」を3位に位置づけ、優先度が高い。
- にぎわい・活力環境の創出では、職員は「中心市街地、駅前の商業施設の充実」が7位であるのに対して、市民は1位で、優先度・重要度が異なっている。「雇用機会の確保」は、職員では1位、市民では3位、「企業誘致や新しい産業の創出」は、職員、市民ともに2位で、市民・職員ともに雇用の場の確保が重視されている。
- 定住環境の充実では、「若年層・団塊世代のUターン支援対策」が、職員、市民ともに1位で、認識が一致している。「自然環境の保全や環境教育の推進」、「ゴミ対策・リサイクル対策」、「公害防止の推進」など環境対策の優先度は、職員、市民の認識が一致している。しかし、市民が職員より優先度が高いのは、「下水道・合併浄化槽の整備」、「生活道路・歩道の整備」、「良好な住宅・宅地の供給」、「街並みなど景観づくりへの取り組み」などである。
…詳細は報告書参照

① 市民主役の行政運営の確立

市民主役の行政運営の確立に対する優先度



参考：市民アンケート（重要度）との比較

順位	市民主役のまちづくりの推進	
	職員アンケート（優先度）	市民アンケート（重要度）
1	公共施設の効率的な運営・管理(60.6%)	行財政改革の推進(41.6%)
2	行財政改革の推進(59.2%)	市民主役の地域づくりの推進(34.0%)
3	市民との協働によるまちづくりの推進(43.7%)	公共施設等の効率的な運営(31.6%)
4	地域リーダー・人材の育成(43.7%)	住民参加、協働のまちづくりの推進(26.9%)
5	行政窓口での対応の状況(43.4%)	ボランティア・市民活動の充実(16.8%)

② 安心・安全環境の充実

安心・安全環境の充実に対する優先度

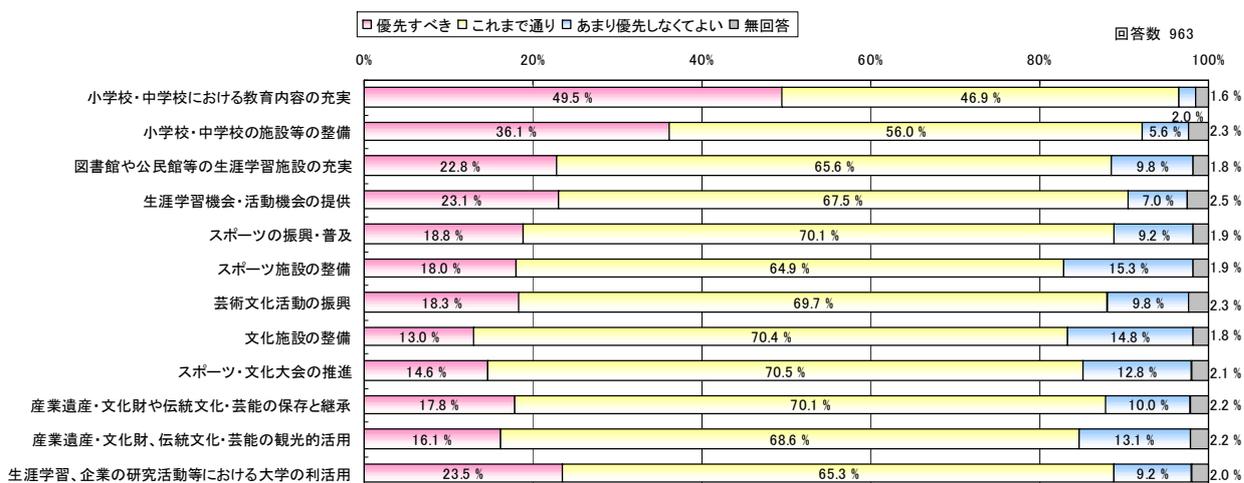


参考：市民アンケート（重要度）との比較

順位	安心・安全環境の充実	
	職員アンケート（優先度）	市民アンケート（重要度）
1	保育所などの子育て支援環境の充実(55.8%)	医療体制の充実(30.5%)
2	台風や地震時の防災対策の充実(55.7%)	防犯対策の充実(28.1%)
3	災害時の情報伝達手段の整備(54.7%)	高齢者福祉対策の充実(25.9%)
4	地域の防犯対策の推進(52.9%)	子育て支援対策の充実(23.7%)
5	医療機関の整備と医療体制の充実(46.6%)	防災対策の充実(18.3%)

③ 教育・文化環境の充実

教育・文化環境の充実に対する優先度



参考：市民アンケート（重要度）との比較

順位	教育・文化環境の充実	
	職員アンケート（優先度）	市民アンケート（重要度）
1	小中学校における教育内容の充実(49.5%)	小中学校における教育内容の充実(47.2%)
2	小中学校の施設等の整備(36.1%)	生涯学習機会、活動機会の提供(19.3%)
3	生涯学習、企業の研究活動等における大学の利活用(23.5%)	小中学校の整備と利活用(19.1%)
4	生涯学習機会・活動機会の提供(23.1%)	生涯学習施設の充実(12.9%)
5	図書館や公民館等の生涯学習施設の充実(22.8%)	芸術・文化施設等の整備(12.0%)

④ にぎわい・活力環境の創出

にぎわい・活力環境の創出に対する優先度

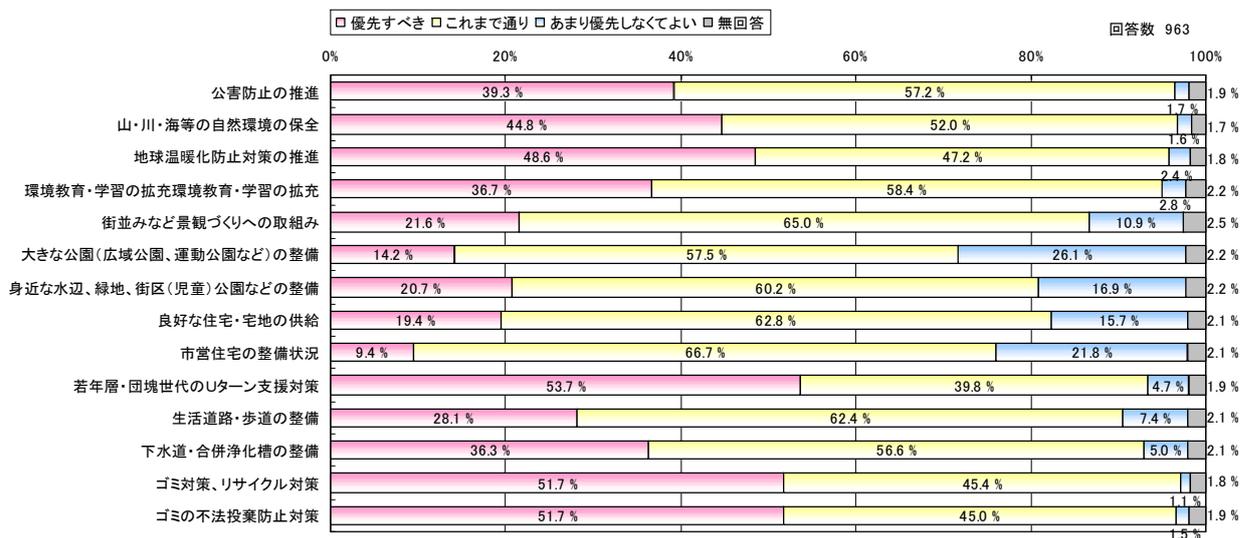


参考：市民アンケート（重要度）との比較

順位	にぎわい・活力環境の創出	
	職員アンケート（優先度）	市民アンケート（重要度）
1	雇用機会の確保(63.4%)	中心市街地、駅前の商業施設の充実(36.2%)
2	企業誘致や新しい産業の創出(58.3%)	企業誘致や新しい産業の創出(28.3%)
3	地元企業の育成(47.1%)	雇用機会の確保(24.9%)
4	産学公民の連携による新しい産業づくり(39.6%)	地産地消の推進(11.5%)
5	職業能力の開発向上(38.8%)	観光産業の振興(10.2%)
6	地産地消の推進(37.1%)	魅力ある計画的な住宅地の形成(9.7%)
7	中心市街地、駅前周辺の商業施設の充実(35.7%)	商業の振興(8.9%)

⑤ 定住環境の充実

定住環境の充実に対する優先度



参考：市民アンケート（重要度）との比較

順位	定住環境の充実	
	職員アンケート（優先度）	市民アンケート（重要度）
1	若年層・団塊世代のUターン支援対策(53.7%)	若者・団塊世代のUターン支援(33.5%)
2	ゴミ対策・リサイクル対策(51.7%)	自然環境の保全や環境教育の推進(22.9%)
3	ゴミの不法投棄防止対策(51.7%)	下水道などの整備促進(20.0%)
4	地球温暖化防止対策の推進(48.6%)	ゴミ対策、リサイクル対策の推進(19.7%)
5	山・川・海等の自然環境の保全(44.8%)	生活道路・歩道の整備(17.7%)
6	公害防止の推進(39.3%)	公害防止の推進(15.4%)
7	環境教育・学習の拡充(36.7%)	良好な住宅・宅地の供給(14.5%)
8	下水道・合併浄化槽の整備(36.3%)	街並みなど景観づくりへの取り組み(13.1%)

<重要とされる主要施策>

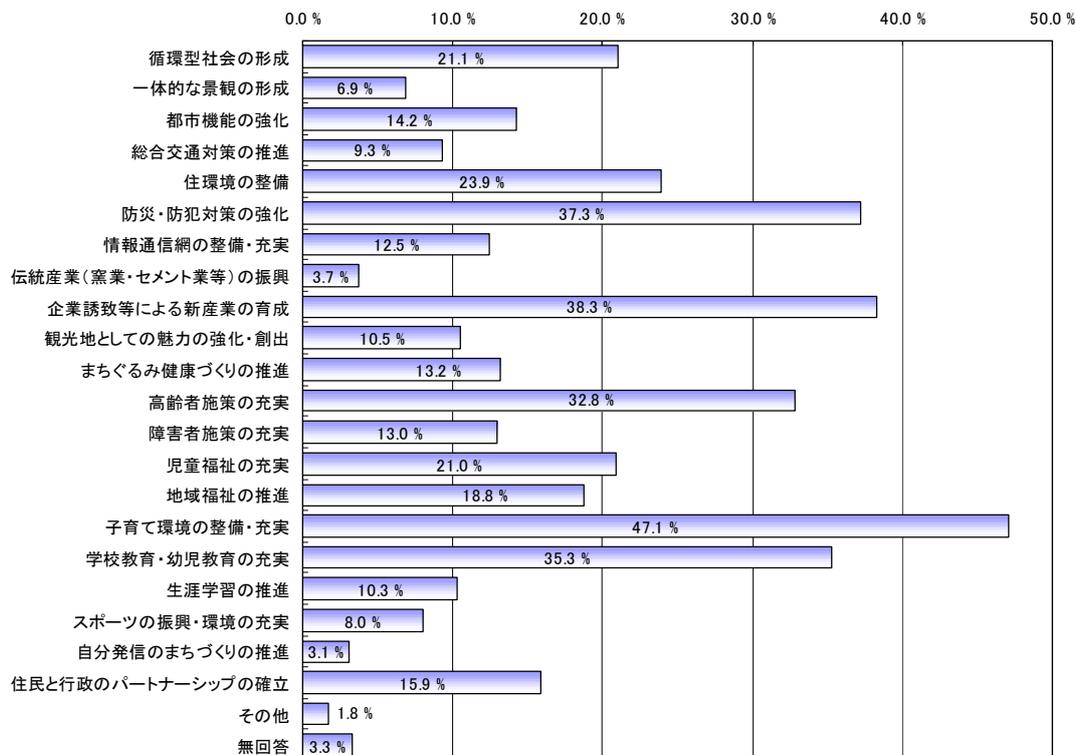
●重要施策としては、職員では「子育て環境の整備」、「児童福祉の充実」、「高齢者施策の充実」、「防災・防犯対策の強化」など安全・安心環境の充実、「住環境の整備」、「循環型社会の形成」など定住環境の充実など生活重視のまちづくりが重視され、市民の認識と一致している。

…詳細は報告書参照

① 重要とされる主要施策

重要とされる主要施策

回答数 963



◆ 財政等について

- 行財政改革の重点的な取り組みとしては、「市民病院、オートレース事業、土地開発公社など地方公営事業・外郭団体の経営改善や統廃合」が5割強で最も多い。次いで「効果のうすれた事業の廃止・縮小」、「事務の効率化・合理化」、「職員の意識改革や能力開発」、「市民、民間企業やNPOなどの民間活力の活用」と続いている。

…詳細は報告書参照

① 行財政改革の重点的な取り組み

行財政改革の重点的な取り組み

